

# 人文学研究科

学位プログラム： 外国学

授与する学位： 修士（言語文化学）、博士（言語文化学）

## 教育目標

---

### 【博士前期課程】

大阪大学および人文学研究科の教育目標のもと、学位プログラム「外国学」は、最先端かつ高度な専門性と深い学識、教養・デザイン力・国際性を身につけ、社会の多様な分野のリーダーとして活躍し得る人材を育成します。

#### ○最先端かつ高度な専門性と深い学識

世界の諸言語とそれを基底とする社会と文化に関する理論と実践にわたる教授・研究を通じて、専攻する言語に関する4技能（読む、聞く、話す、書く）の高い運用能力と、世界の言語圏についての最先端かつ高度な専門性と深い学識に基づいた、新たな学問的な知見を提起する能力を育成します。

#### ○高度な教養

既存の学問領域を超え、世界の諸言語とそれを基底とする社会と文化の全体像を理解するのに求められる異文化理解についての高度な教養と現代にふさわしい高度な情報リテラシーを備え、その方法論に習熟し、異文化を複眼的、立体的に捉え、多角的に評価できる人材を育成します。また、「人文学林」での他専攻の言語学、文学、歴史学等、人文社会科学諸分野のディシプリンの成果を応用できる高度な教養を備えた人材を育成します。

#### ○高度な国際性

世界の諸言語について、高度な言語運用能力をもち、微妙なニュアンスの違いを理解し、異文化間の豊かなコミュニケーションを实らせることのできる人材を育成します。

#### ○高度なデザイン力

世界の諸言語とそれを基底とする社会と文化についての深い学識、異文化理解についての幅広い教養と高度な言語運用能力を基礎に、世界の諸言語や社会・文化の成り立ちと現況に鋭い洞察力をもつとともに、現代世界が直面する新しく多様な課題を提起し、解決の道筋を創造的に構想できる人材を育成します。

#### ○独自の教育目標

専攻する言語（中国語、朝鮮語、モンゴル語、インドネシア語、フィリピン語、タイ語、ベトナム語、ビルマ語、ヒンディー語、ウルドゥー語、アラビア語、ペルシア語、トルコ語、スワヒリ語、ロシア語、ハンガリー語、ドイツ語、デンマーク語、スウェーデン語、英語、フランス語、イタリア語、スペイン語、ポルトガル語）について、4技能（読む、聞く、話す、書く）にわたって高い言語運用能力をもち、高度な学問的内容をもつ長い文章や発表などを理解し、複雑な学問的主張を流暢に表現する能力を涵養します。

## 【博士後期課程】

大阪大学および人文学研究科の教育目標のもと、学位プログラム「外国学」は、最先端かつ高度な専門性と深い学識、教養・デザイン力・国際性を身につけ、社会の多様な分野のリーダーとして活躍し得る人材を育成します。

### ○最先端かつ高度な専門性と深い学識

世界の諸言語とそれを基底とする社会と文化に関する理論と実践にわたる教授・研究を通じて、世界の言語圏についての最先端かつ高度な専門性と深い学識に基づいた、新たな学問的な知見を提起する能力を持った自立した研究者ならびに高度専門職業人を育成します。

### ○高度な教養

既存の学問領域を超え、世界の諸言語とそれを基底とする社会と文化の全体像を理解するのに求められる異文化理解についての領域横断的で高度な教養と現代にふさわしい高度な情報リテラシーを備え、その方法論に習熟し、異文化を学際的観点から複眼的・立体的に捉え、多角的に評価できる人材を育成します。

### ○高度な国際性

世界の諸言語について、高度な言語運用能力をもち、微妙なニュアンスの違いを理解し、異文化間の豊かなコミュニケーションを实らせることのできる人材を育成します。海外の研究者と積極的に連携しながら研究を進め、専門とする言語による研究発表をするなど、世界で活躍する国際性豊かで有為な人材を育成します。

### ○高度なデザイン力

世界の諸言語とそれを基底とする社会と文化についての深い学識、異文化理解についての幅広い教養と高度な言語運用能力を基礎に、世界の諸言語や社会・文化の成り立ちと現況に鋭い洞察力をもちとともに、現代世界が直面する新しく多様な課題を提起し、解決の道筋を創造的に構想できる人材を育成します。諸言語の資料をもとに、言語とその地域が抱える課題の本質が何かを見通すことのできる視点を涵養するため、人文社会科学諸分野のディシプリンの成果を応用しつつ、専攻する言語での資料を駆使しながら持論を展開できるような高度なデザイン力を持つ人材を育成します。

### ○独自の教育目標

専攻する言語（中国語、朝鮮語、モンゴル語、インドネシア語、フィリピン語、タイ語、ベトナム語、ビルマ語、ヒンディー語、ウルドゥー語、アラビア語、ペルシア語、トルコ語、スワヒリ語、ロシア語、ハンガリー語、ドイツ語、デンマーク語、スウェーデン語、英語、フランス語、イタリア語、スペイン語、ポルトガル語）について、4技能（読む、聞く、話す、書く）にわたって高い言語運用能力をもち、高度な学問的内容をもつ長い文章や発表などを理解し、複雑な学問的主張を流暢に表現する能力を涵養します。今後ますます社会のグローバル化の進展が予想され、実際には格差や分断が顕在化する状況にあります。こうした状況を生み出す根幹には何かあるのかを探求し、言語や文化の差異を越えて相互理解を促進することのできる、多様な分野のリーダ

ーとして活躍する人材を育成します。

## 学位授与の方針（ディプロマ・ポリシー）

---

### 【博士前期課程】

大阪大学および人文学研究科のディプロマ・ポリシーのもと、学位プログラム「外国学」は、以下に示す世界の諸言語と文化に関する最先端かつ高度な専門性と深い学識、教養・デザイン力・国際性および高い言語運用能力を身につけ、所定の単位を修得し、学位論文の審査及び最終試験に合格した学生に、修士（言語文化学）の学位を授与します。

#### ○最先端かつ高度な専門性と深い学識

- ・専攻する地域の言語について、最先端かつ高度な専門性と深い学識を身につけている。
- ・専攻する地域の文化事象について、最先端かつ高度な専門性と深い学識を身につけている。
- ・専攻する地域の歴史社会について、最先端かつ高度な専門性と深い学識を身につけている。

#### ○高度な教養

- ・世界の言語、文化、社会について既存の学問分野を超えた学際的で幅広い知識を有している。
- ・異文化の言語・文化の全体像を理解するための方法について、高度な情報リテラシーを基盤とし、既存の学問分野を超えた学際的で幅広い学識と知見を身につけている。

#### ○高度な国際性

- ・高度な外国語の運用能力を駆使して、言語や文化の壁を越え異なる文化を深く理解できる。
- ・高度な外国語の運用能力を駆使して、言語や文化の壁を越えて交流することができる。

#### ○高度なデザイン力

- ・世界の言語、文化、社会が直面する新たな本質的かつ複雑多様な課題を発見できる。
- ・グローバルな視野に立って、世界が直面する課題について、多面的かつ柔軟に考えることができる。
- ・専攻語の能力と、言語圏についての深い学識を活用し、的確なデータ・文献資料収集を通して、世界が直面する問題の解決への道筋を構想できる能力を身につけている。

#### ○独自の学習目標

専攻する言語（中国語、朝鮮語、モンゴル語、インドネシア語、フィリピン語、タイ語、ベトナム語、ビルマ語、ヒンディー語、ウルドゥー語、アラビア語、ペルシア語、トルコ語、スワヒリ語、ロシア語、ハンガリー語、ドイツ語、デンマーク語、スウェーデン語、英語、フランス語、イタリア語、スペイン語、ポルトガル語）について、4技能（読む、聞く、話す、書く）にわたって高い言語運用能力を有する。

## 【博士後期課程】

大阪大学および人文学研究科のディプロマ・ポリシーのもと、学位プログラム「外国学」は、以下に示す世界の諸言語と文化に関する最先端かつ高度な専門性と深い学識、教養・デザイン力・国際性および高い言語運用能力を身につけ、所定の単位を修得し、学位論文の審査及び最終試験に合格した学生に、博士（言語文化学）の学位を授与します。

### ○最先端かつ高度な専門性と深い学識

- ・専攻する地域の言語について、最先端かつ高度な専門性と深い学識を身につけている。
- ・専攻する地域の文化事象について、最先端かつ高度な専門性と深い学識を身につけている。
- ・専攻する地域の歴史社会について、最先端かつ高度な専門性と深い学識を身につけている。
- ・世界の多様な言語文化のうち、特定のテーマについて、最新の先行研究を参考にしつつ、データや文献などの資料を的確に収集し、正確に読解・分析することができる深い学識を身につけている。

### ○高度な教養

- ・世界の言語、文化、社会について既存の学問分野を超えた学際的で幅広い知識を有している。
- ・異文化の言語・文化の全体像を理解するための方法について、高度な情報リテラシーを基盤とし、既存の学問分野を超えた学際的で幅広い学識と知見を身につけている。
- ・自身が対象とする専門分野・地域について、その基礎となる地域文化の特徴や、普遍的な問題点を理解できる高度な教養を有している。

### ○高度な国際性

- ・高度な外国語の運用能力を駆使して、言語や文化の壁を越え異なる文化を深く理解できる。
- ・高度な外国語の運用能力を駆使して、言語や文化の壁を越えて交流することができる。
- ・言語やその地域を研究対象としながら、言語や文化の差異を越えて世界で活躍できる。

### ○高度なデザイン力

- ・世界の言語、文化、社会が直面する新たな本質的かつ複雑多様な課題を発見できる。
- ・グローバルな視野に立って、世界が直面する課題について、多面的かつ柔軟に考えることができる。
- ・専攻語の高度な運用能力と、言語圏についての深い学識を活用し、的確なデータ・文献資料収集を通して世界が直面する問題の解決への道筋を構想できる能力を身につけている。
- ・独創性・実証性・論理性・明確性等の要件を満たしつつ、自らの専門分野についての問題設定を独創的に構想するとともに、論文執筆においては一貫した論理性と実証性、明確性を満たすことのできる能力を持つ。

### ○独自の学習目標

専攻する言語（中国語、朝鮮語、モンゴル語、インドネシア語、フィリピン語、タイ語、ベトナム語、ビルマ語、ヒンディー語、ウルドゥー語、アラビア語、ペルシア語、トルコ語、スワヒリ語、ロシア語、ハンガリー語、ドイツ語、デンマーク語、スウェーデン語、英語、フランス語、イ

タリア語、スペイン語、ポルトガル語) について、4 技能 (読む、聞く、話す、書く) にわたって高い言語運用能力を有し、高度な諸言語の文献を正確に読解し、世界での最先端の研究成果を視野に入れながら研究を進めることができる。

## 教育課程編成・実施の方針（カリキュラム・ポリシー）

---

大阪大学および人文学研究科のカリキュラム・ポリシーのもと、学位プログラム「外国学」は、学習目標に定める知識や技能を修得させるべく、体系的かつ多様な科目の授業及び学位論文の作成等に対する指導によって行います。また、授業科目の単位認定は、筆記試験、口頭試験もしくは研究報告によって行います。

### 【博士前期課程】

#### <教育課程編成の考え方>

外国学専攻の前期課程は、24 の専攻言語の専門性の高い科目群（専攻言語、地域言語論）の他に、広域言語論、地域言語社会特論、複合領域特論の科目群や、人文学研究科共通の科目を設け、これらを履修することで専門領域に関するより広い視野を持ち、多面的な考察ができるように、多様な科目を提供します。また、海外留学や海外研修を積極的に推奨します。

- ・ 専攻言語：専攻する言語の知識を得るとともに、4 技能（読む、聞く、話す、書く）にわたる高い運用能力を涵養するための授業科目群。（独自の学習目標）
- ・ 地域言語論：専攻する言語圏の言語、文化表象、歴史と社会についての専門的な知識を涵養するための授業科目群。（最先端かつ高度な専門性と深い学識、高度な教養）
- ・ 広域言語論：グローバルな観点から専攻する言語圏の言語と文化を捉える力を養うための授業科目群。（高度な国際性、高度な教養）
- ・ 地域言語社会特論：専攻する言語圏の言語と文化の特定の課題に関する研究を行う授業科目群。（高度なデザイン力）
- ・ 複合領域特論：多様な領域にまたがるテーマを研究する授業科目群。（高度なデザイン力）

#### <学修内容及び学修方法>

授業の形式は、学生自身による問題解決型の学習を取り入れ、各専門教育科目の教授内容に合わせ、講義、演習等の多様な手法で行います。また、高度教養教育科目ならびに国際性涵養教育科目をそれぞれ1単位以上修得させます。

学生の研究指導は、前期課程の学生には各専攻言語の教員を中心に2名の教員が担当します。専門科目は演習や実習の形式で行いますが、人文学研究科の必修科目として「人文学」の基礎知識を学ぶ「人文学基礎（人文学と対話）」をはじめとする大学院共通科目を履修することによって、より幅広い教養を身につけることができるように設定されています。

#### <学修成果の評価方法>

各授業科目においては、シラバス等に記載されている学習目標の達成度に従い、成績評価の方法（試験や課題、レポートなど）を用いて評価します。修士論文においては、中間発表等を通じて、研究の進展についての評価を行います。また、学位申請のために提出された論文については、

複数の教員による口頭試問が実施され、主題選択の妥当性、論述の明晰さ、資料・文献調査の適切性、主張の独自性などを総合的に判断し、学修成果について評価します。

## 【博士後期課程】

### ＜教育課程編成の考え方＞

ディプロマ・ポリシーに掲げた知識や技能を涵養するために、体系的で多様な科目を開設し、学位論文の作成に関する指導を行います。また、海外留学や海外研修を積極的に推奨します。

- ・ 専攻科目：専攻する言語圏の先端的な知識を身につけるための授業科目群。(独自の学習目標)
- ・ 地域言語社会特論：専攻する言語圏の言語と文化の特定の課題に関する研究を行う授業科目群。(最先端かつ高度な専門性と深い学識、高度な教養)
- ・ 複合領域特論：多様な領域にまたがるテーマを研究する授業科目群。(高度なデザイン力、高度な国際性)

### ＜学修内容及び学修方法＞

授業の形式は、学生自身による問題解決型の学習を取り入れ、各専門教育科目の教授内容に合わせ、講義、演習等の多様な手法で行います。

学生の研究指導は、専攻言語を問わない教員 3 名による研究指導体制を取ります。専門科目は演習や実習の形式で行います。

### ＜学修成果の評価方法＞

各授業科目においては、シラバス等に記載されている学習目標の達成度に従い、成績評価の方法（試験や課題、レポートなど）を用いて評価します。博士論文においては、執筆中の論文の中間発表等を通じて、研究の進展についての評価を行います。また、学位申請のために提出された論文については、複数の教員による口頭試問が実施され、主題選択の妥当性、論述の明晰さ、資料・文献調査の適切性、主張の独自性などを総合的に判断し、学修成果について評価します。

# 人文学研究科カリキュラムマップ\_博士前期課程 外国学専攻学位プログラム「外国学」

専攻 最先端かつ 深い学識を 有する	高度な 国際性 を有する	高度な デザイン 能力を有する	独自の 教育目標 を有する	博士前期1年				博士前期2年			
				春学期	夏学期	秋学期	冬学期	春学期	夏学期	秋学期	冬学期

専攻する地域の言語について、最先端かつ高度な専門性と深い学識を身につけている	○					<div style="background-color: #e0ffff; padding: 10px; text-align: center;"> <b>専攻提供科目</b>                      (地域言語論・広域言語論・専攻言語)                 </div> <div style="background-color: #90ee90; padding: 5px; text-align: center;"> <b>研究科共通科目</b>                      大学院横断教育科目・大学院副専攻プログラム・大学院等高度副プログラム                 </div> <div style="background-color: #ffff00; padding: 5px; text-align: center;"> <b>高度教養教育科目</b>                      研究科共通科目 人文学基礎等                 </div> <div style="background-color: #00ffcc; padding: 5px; text-align: center;"> <b>高度国際性涵養教育科目</b> </div> <div style="background-color: #add8e6; padding: 10px; text-align: center;"> <b>海外留学※</b>                      地域言語社会特論・複合領域特論                 </div> <div style="background-color: #e0ffff; padding: 10px; text-align: center;">                     修士論文執筆                 </div>
専攻する地域の文化事象について、最先端かつ高度な専門性と深い学識を身につけている	○					
専攻する地域の歴史社会について、最先端かつ高度な専門性と深い学識を身につけている	○					
世界の言語、文化、社会について既存の学問分野を超えた学際的で幅広い知識を有している		○				
異文化の言語・文化の全体像を理解するための方法について、高度な情報リテラシーを基盤とし、既存の学問分野を超えた学際的で幅広い学識と知見を身につけている		○				
高度な外国語の運用能力を駆使して、言語や文化の壁を越え異なる文化を深く理解できる			○			
高度な外国語の運用能力を駆使して、言語や文化の壁を越えて交流することができる			○			
世界の言語、文化、社会が直面する新たな本質的かつ複雑多様な課題を発見できる				○		
グローバルな視野に立って、世界が直面する課題について、多面的かつ柔軟に考えることができる				○		
専攻語の能力と、言語圏についての深い学識を活用し、的確なデータ・文献資料収集を通して、世界が直面する問題の解決への道筋を構想できる能力を身につけている				○		
専攻する言語について、4技能(読む、聞く、話す、書く)にわたって高い言語運用能力を有する					○	

※海外留学は、必須ではありません。

交換留学およびエラスムス・ムンドゥス・マスタープログラム(ユローカルチャー)を希望する場合は、協定校が定める語学能力に関する証明書の提出や、面接等に合格する必要があります。

上記の留学期間はモデルケースであり、留学期を限定しているものではありません。

留学期間は概ね、半年～1年程度です。

# 人文学研究科カリキュラムマップ\_博士後期課程 外国学専攻学位プログラム「外国学」

専攻領域と深い専門性 高度な教養	国際性	デザイン力	教養目標	博士後期 1年				博士後期 2年				博士後期 3年					
				春学期	夏学期	秋学期	冬学期	春学期	夏学期	秋学期	冬学期	春学期	夏学期	秋学期	冬学期		
専攻する地域の言語について、最先端かつ高度な専門性と深い学識を身につけている	○																
専攻する地域の文化事象について、最先端かつ高度な専門性と深い学識を身につけている	○																
専攻する地域の歴史社会について、最先端かつ高度な専門性と深い学識を身につけている	○																
世界の多様な言語文化のうち、特定のテーマについて、最新の先行研究を参考にしつつ、データや文献などの資料を的確に収集し、正確に読解・分析することができる深い学識を持つ人材を育成する	○																
世界の言語、文化、社会について既存の学問分野を超えた学際的で幅広い知識を有している	○																
異文化の言語・文化の全体像を理解するための方法について、高度な情報リテラシーを基盤とし、既存の学問分野を超えた学際的で幅広い学識と知見を身につけている	○																
自身が対象とする専門分野・地域について、その基礎となる地域文化の特徴や、普遍的な問題点を理解できる高度な教養を有している	○																
高度な外国語の運用能力を駆使して、言語や文化の差を越え異なる文化を深く理解できる																	
高度な外国語の運用能力を駆使して、言語や文化の差を越えて交流することができる																	
言語やその地域を研究対象としながら、言語や文化の差異を越えて世界で活躍できる																	
世界の言語、文化、社会が直面する新たな本質的かつ複雑多様な課題を発見できる																	
グローバルな視野に立って、世界が直面する課題について、多面的かつ柔軟に考えることができる																	
専攻語の能力と、言語圏についての深い学識を活用し、的確なデータ・文献資料収集を通して、世界が直面する問題の解決への道筋を構想できる能力を身につけている																	
独創性・実証性・論理性・明確性等の要件を満たしつつ、自らの専門分野についての問題設定を独創的に構想するとともに、論文執筆においては一貫した論理性と実証性・明確性を満たすことのできる能力を持つ																	
専攻する言語について、4技能(読む、聞く、話す、書く)にわたって高い言語運用能力を有し、高度な読書能力を正確に読解し、世界での最先端の研究結果を視野に入れながら研究を進めることができる																	

大学院横断教育科目・大学院副専攻プログラム・大学院等高度副プログラム

海外留学※

地域言語社会特論・複合領域特論

専攻提供科目  
(所属専門分野の科目)

博士論文

※海外留学は、必須ではありません。  
 交換留学を希望する場合は、協定校が定める語学能力に関する証明書の提出や、面接等に合格する必要があります。  
 上記の留学期間はモデルケースであり、留学期間を限定しているものではありません。  
 留学期間は概ね、半年～1年程度です。